

---

# 私の生きる意味

来夏

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

私の生きる意味

### 【Nコード】

N9701C

### 【作者名】

来夏

### 【あらすじ】

平凡な中3水沢あかりそんな彼女の住んでいる町である事件が・  
・あかりたちはどうする・・・受験生の複雑なこの時期文化祭は成功するのか？あかりたちは卒業できるのか？

## 第1話 「命の授業」

私たちは今

なにを感じ

なにをするために生きているのか

あなたに分かりますか？

あなたが生きる意味はなんですか？

私たちは中学3年生。もう11月になっちゃった

残りももうわずか

受験に向かってまっしぐらです

そんなある日

事件は起こった

市内の中学生が自殺しようとしたのだった

彼は学校でも家でもいい子だったらしい

幸い近所の人の説得で彼が怪我をすることも無かった

この事件をきっかけにして私たちの学校では「命の授業」が開かれることになった

あっそういえば私の名前教えてないよね？私は水沢 あかり（ミズサワ アカリ）

3年A組の学級委員をやってます

11月10日 あの事件の2日後「命の授業」は開催された  
受験生の私たちとしては授業をしてほしいんだけど・・・  
「命の授業」では、県の教育委員会の方を招き「子供電話相談」の実態についてお話をいただきました。

「このごろ中高生の自殺が目立ってきました。自殺というのは別な言葉にすると逃避なんです。

人は死ぬために生きているわけではありません。生きることには必ず理由があります。

その理由は人によって違うかもしれませんが．．．今はまだ分からないかもしれませんが．．．．

いつか見つかると思います。．．．．．

．．．

逃げることは何の解決にもならないことを．．．忘れないでください。」

と最後のほうに教育委員会の方はおしゃっていました。

この授業をきっかけにし他の中学校や高校でも「命の授業」は開かれました。

あの授業はみんなの心に大きな影響をあたえました。

そして

わが市にも平和の香りが漂い始めました。

あの授業以来私は、自分の生きる意味について考えるようになりました。

私は、旅立ちます。自分の生きる意味を求めて

## 文化祭

私たちの学校の伝統的なものとして「校内合唱コンクール」がある。それは文化祭の恒例イベントの1つだ。

ケド「命の授業」の関係で準備が遅れている。

あと1週間で本番なのに歌う曲さえ決まっていけない。

「ねえ みんな合唱コンクールなに歌う？」

「『旅人の街』とかいいんじゃない？」

「いいかもね．．．でもあの男子たちだよ．．．できるわけ無いよ」

こんな会話が毎日聞こえる。

男女の溝は広がるだけ。私はある決断をした。

「では今年は『旅人の街』に決定します。」

そういったとたん周囲が固まる。

「水沢さん無謀ですね」

といわれてしまった。

「文句ある人いる？」

少しひね曲がった感じで言った。

「文句は無いけど．．．難しいと思うよ」

「挑戦しようよ。最後の文化祭なんだし．．．ね」

みんなは諦めて私についてくることを決意してみた。

それから私たちA組の勝負は始まった。

「そこソプラノ音あってないよ。ここは高いミだからこの音。男子はそのままの音量でもっと力強く

アルトは声もっと出して」

『はい』

こんな感じで迎えた本番。気合は十分（だと思う）

悠美（クラスの美少女？）が

「今日はみんながんばろう」

という　みんなから元気な声が響いてくる。

麻美や里香が

『3Aファイト』

と声をかける。

そんな感じで始まった本番。

放送委員会の放送が流れる。

【続いて3年A組の発表です。曲目は『旅人の街』です。指揮は柿本　祥也くんです。】

柿本くんが指揮台に上がる。緊張でいっぱいになった。

今旅立ちの朝　静けさが残る街並み　僕はこの街に背を向けて今走り出す

僕には迷いは無い　見つめるのは新たな日の新たな日差しだけだから

今歩き出そう　憩いの場を目指して　今歩み始める

僕らにはゴールなんて無い　目指すのは永遠の地

争いが無く　傷つけあわず　みんなの求める　あの地へ

こうして私たちの合唱は成功して幕を閉じました。

私はこのクラスでよかったということを本気で思いました。

あともう少しでこのクラスのみんなともお別れだけど

私は最後までみんなとエンジョイします

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9701c/>

---

私の生きる意味

2010年10月10日02時29分発行